

<p>&lt;研究課題名&gt;</p>	<p>E-0701 (大気-01)</p>	<p>水・物質・エネルギー統合解析によるアジア拠点都市の自然共生型技術・政策シナリオの設計・評価システムに関する研究</p>		
<p>&lt;研究概要&gt;</p> <p>東アジアの拠点都市において都市・産業システムの代替的な技術・政策シナリオを定量的なインベントリと、統合的な環境フラックス解析システムの構築することで、地域環境保全力を高める都市・産業の設計を可能にする。集計的に環境負荷集計的に評価するアプローチではなく、「環境フラックス」の空間分布と時間変化を定量的に算定するシステムによって、産業拠点を軸とする都市活動との水・物質・エネルギーの共生的利用システムを構築するプロセスを構築する。</p> <p>（１）水・物質・エネルギー解析モデルによる都市・産業活動の技術政策の設計・評価に関する研究； 都市の資源循環解析モデルとプロセスベースの水系モデルをもとに、水・物質・エネルギー統合型モデルを構築する基本プロセスを描く。産業構造の循環型への転換、産業活動を都市の代謝基盤として活用する産業共生の社会システムの構築について、都市・地域の環境情報データベースと都市環境基盤の技術インベントリとの組合せで、拠点都市・周辺圏域への影響を定量的に算定する統合型環境技術評価シミュレーションシステムを開発する。</p> <p>（２）東アジア・国土・都市圏のマルチスケール環境フラックス解析システムに関する研究； 都市・圏域のマルチスケール間での物質、財、サービスの移動・流通に伴う水・熱・物質の連関、都市・地域内での水・熱・物質の分布構造を把握するシステムを開発する。</p> <p>（３）東アジアの持続可能な都市・政策・技術シナリオのプラットフォームに関する研究； 既存プラットフォームの評価・分析を行い、関係者ヒアリングを体系的に実施する。環境省や援助機関、途上国政府、日本及び途上国の地方自治体、世界銀行やアジア開発銀行など国際開発機関等の担当者への個別ヒアリングや、ワークショップ開催などを通じて情報交流のプラットフォームを形成する。</p> <p>（４）自然共生の政策形成システムの構築に関する研究； 気候モデルの予測する東アジア地域の温暖化シナリオ下での流域圏の環境容量を分布型のデータベースとして共有した上で、東アジア拠点都市の自然共生の政策ガイドラインを構築する。</p>				
<p>&lt;研究代表者&gt;</p>		<p>藤田 壮</p>		<p>独立行政法人国立環境研究所・アジア自然共生研究グループ 環境技術評価システム研究室長（48 才）</p>
<p>No.</p>	<p>サブテーマ名</p>		<p>氏名</p>	<p>所属機関名・部局・役職名</p>
<p>(1)</p>	<p>水・物質・エネルギー解析モデルによる都市・産業活動の技術政策の設計・評価に関する研究</p>		<p>中山 忠鴨  徐 開欽  藤井 実  ○ 村野 昭人</p>	<p>独立行政法人国立環境研究所・アジア自然共生研究グループ 主任研究員  独立行政法人国立環境研究所・アジア自然共生研究グループ 主任研究員  独立行政法人国立環境研究所・アジア自然共生研究グループ 研究員  東洋大学・地域産業共生研究センター・研究助手</p>
<p>(2)</p>	<p>東アジア・国土・都市圏のマルチスケール環境フラックス解析システムに関する研究</p>		<p>○ 渡邊 正孝  丹治 三則  岡寺 智大  藤倉 良</p>	<p>慶應義塾大学・政策メディア研究所・教授  慶應義塾大学大学院・政策メディア研究所・特別研究助手  独立行政法人国立環境研究所・アジア自然共生研究グループ 研究員  法政大学 人間環境学部 教授</p>
<p>(3)</p>	<p>東アジアの持続可能な都市・政策・技術シナリオのプラットフォームに関する研究</p>		<p>○ 森 秀行  佐野 大輔  中村 秀則</p>	<p>財団法人地球環境戦略研究機関 副所長  財団法人地球環境戦略研究機関政策ガバナンスチームサブマネージャー  財団法人地球環境戦略研究機関政策ガバナンスチーム研究員</p>
<p>(4)</p>	<p>自然共生の政策形成システムの構築に関する研究</p>		<p>◎ 藤田 壮  中根 英昭</p>	<p>独立行政法人国立環境研究所・アジア自然共生研究グループ 環境技術評価システム研究室長  独立行政法人国立環境研究所・アジア自然共生研究グループ</p>